

10月14日、関西で高齢者住宅事業等を展開するゲストハウス(神戸市)が主催する「第1回 上海国際老産業交流会」が上海で開催され、高齢者向けビジネスを手がける日中西国の関係者200人以上が参加した。また、翌日には日本からの参加者による、中国の医療・高齢者施設見学ツアーも開催された。両日の様子をレポートする。

元々のイベント 突然の開催中止に

もともと、上海ではこの秋に高齢者向けビジネスに関する大規模な展示会が計画されており、ゲストハウスをはじめ、中国市場に興味を持つ介護・医療関連の日本法人も複数出展する予定だった。また、このイベントを見学し、併せて中国の介護・医療事情を視察するツアーについても企画されていた。

上海シニアビジネス交流会 & 中国医療・介護視察ツアー

ルポ

人が出展に向け準備していたのだから、自分達で会だ。会場となった上海世易商城(上海マート)に設けられたセミナー会場では、上海体育学院の李建国教授による講演「上海高齢者事業の現状と発展」、医療法人社団アルペン会(富山市)室谷ゆかり常務理事の講演「これからの高齢化社会への挑戦」高齢者に元気な生活を送るために「が」行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

ところが中国側の事情によりイベントそのものが直前に中止。しかし、ハウスが呼びかけて開催し、「せっかくなので多くの法」

上海の高齢化率23.4%

平均寿命は日本並みの82.3歳



▲熱心にブースを見学する来場者

介護関係者は中国市場での展開にどのくらい積極的なのか」と日本語で23.4%と10ポイント近く高い。また、平均寿命も中国全体の75.4歳に、上海では82.3歳と日本とそう変わらないレベルにまで高くなっている。加えて、一人っ子政策がスタートした当初の親世代が高齢者に差し掛かっており、今後は高齢者を支える現役世代の急激な減少も懸念されている。

中国はエレベーター設置や道路の段差解消が不十分のため、足腰が不安な高齢者が外出しにくいという問題があります。して語った。

また、セミナー会場の後方には日本、中国4の高齢者向け事業に関する法人がブース展示を行い、自社商品やサービスをアピール。セミナー前後には来場者が熱心に見学・商談していた。

参加者は、高齢者向けビジネスに関わる、あるいはこれから関わろうとしている中国の法人、及び中国に拠点を持つ日本法人など約200人以上。

中国はエレベーター設置や道路の段差解消が不十分のため、足腰が不安な高齢者が外出しにくいという問題があります。して語った。

また、セミナー会場の後方には日本、中国4の高齢者向け事業に関する法人がブース展示を行い、自社商品やサービスをアピール。セミナー前後には来場者が熱心に見学・商談していた。

交流会、200人参加

セミナーに参加していた写真用アルバム大手ナカバヤシ(東京都板橋区)

主催者の声



ゲストハウス 松山英樹社長

元々予定されていたイベントが中止になり急遽企画したため、美質的な営業・告知期間は1ヵ月程度しかありませんでした。50人程度が参加すれば御の字と考えていましたが、最終的に200人以上が参加してくれ、非常に満足しています。

急速な高齢化を受け、中国側の一高齢者向けビジネスの先進国である日本に学ぶ、日本と組むという意識は非常に高いと思います。実際、中国では介護予防、リハビリに関する面では日本に比べるとまだまだ十分という印象があります。今後、日本の企業が中国で活躍する余地は十分にあると思います。



▲医療法人ら20名以上が視察ツアーに参加

今後7年1回程度開催

中国の結びつきを強めて行きたいと考えています。



▲李教授のセミナーの様子

営業活動殆んど必要なし

現在、上海市にある老人ホームの数は約620件。総定員は約10万人分にもなる。その殆どは民間事業者が運営する。

一方、上海市の高齢者数は約300万人。高齢者100人に対する整備割合は約3.3で日本より少ない。価格は最も高いもので、会員権

上海老人ホーム事情

(入居金)80万円(1040万円)、管理費年間6万円(78万円)、食費や水光熱費、介護費用は別途となっている。

入居者獲得には苦労しないため、テレビや新聞広告など、老人ホームの入居者募集活動を支援する10万円(130万円)で、これは一般的な高いもので、会員権

3年以内にホーム開設



寿寿 児林健太社長

現在、関西で高齢者住宅及び介護事業を展開していますが、関西では供給過剰気味です。そこで3年以内に大連での老人ホーム開設を目指し、現地法人も立ち上げています。

リハビリ旅行で来日促進



アルペン 山本太郎社長

富山でリハビリセンターを運営しています。今回は、中国、くアピール出来れば、多くの人が訪れてくれるものと思います。出れば来春春頃くらいには受け入れを開始したいと考えています。

高額商品のニーズ増期待

アイホン 総編 藤土主事補

インターホンなどの当社製品は代理店を通じて、今年に入り上海に駐在事務所を開設しました。来年には現地法人を開設する予定です。中国製品に比べると価格が高いという点がネックになりますが、富裕層の増加により、高くて高性能の製品のニーズが増していくものと考えています。

中国の声、商品開発の参考に

テクノス 井川善朗取締役

当社では、介護発する上で、参考となるような意見を直接中国の介護・医療関係者などを手がけています。現在のシステムは、介護に関する制度が違いますが、中国では販売しては来ませんが、将来中国向けの製品を開発するにあたっては、中国国内に設置することも考えられます。その点についてリサーチもしていきたいと考えています。

